

# びとう和広後援会ニュース

20号外 No. 2  
発行日：  
2020年9月6日  
発行責任：  
びとう和広後援会  
会長：浅居繁樹

## 5期目挑戦に向け、 新たな決意！

後援会の皆様、いつも力強いご支援、ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症が、なかなか終息しません。三田市でも35人を超える感染者が出ており、不安な日々が続いております。皆様には、家にこもるのではなく、時には三田の自然で、元気になっていただければと思っております。

さて、人口急増した三田市は、急激な高齢化に加え、子育て世代の転入が減少し、急激な人口減少・少子高齢化が進行中です。子育てするならゼットイ三田で若者転入をめざした三田は、「ゼットイ」は無理として、新たなまちづくりを進めています。今こそ、安心して「住み・働き・憩い・学び続けられる元気なまち・三田」をめざし、市民が一体となって取り組む時だと考え、5期目挑戦を決めました。



一緒に創りましょう！

安心・元気な  
まち・三田！

びとう かずひろ  
和広

## 『びとう和広』後援会 会員拡大活動を展開中！！

びとう後援会では、7月、後援会の皆様に5期目挑戦に向けたリーフレット・後援会ニュース号外1号・後援会紹介はがきを送らせていただきました。

また、8月1日・2日に多く皆様のご協力をいただき、電話によりお困りごとの確認をさせていただきました。

また、4月から、びとう本人だけで、お宅訪問を進めさせていただいております。なかなか皆様全員まで廻りできていませんが、できる限り続けてまいります。

さらに、定例の出勤時挨拶・市政相談会に加え、8月中旬より、駅周辺・交差点・関連会社などで、ご挨拶をさせていただきます。

これらの活動によりまして、多くのご指摘・ご意見・ご提案を頂き、一つひとつ確認するとともに、市当局等への申し入れをしているところです。

今回の9月議会の一般質問では、平谷川周辺にお住まいの皆様からいただいた河川敷の伸び放題となった樹木や草花に対する課題を、路上で遊ぶ子どもたちの遊び場問題と併せて、平谷川緑地を整備し、都市緑地とする提案をしました。副市長答弁は、来年夏に向け整備するとのことでした。(市政報告2020年9月号参照)

後援会活動の一環として、毎年秋に開催の三菱電機三田製作所オータムフェスティバルに協賛していますが、昨年の台風中止に続き、今年もコロナ禍の影響で中止が決定しました。来年こそは、開催できることを、心から祈るところです。

私は、コロナ禍をピンチと考えず、リモート会議やネット配信などの新しい生活様式への転換点と捉え、一歩進めて三田の強みとなるよう提案しています。

「びとう和広」は、市政に送っていただき16年間、「皆様の声を市政に！」をモットーに、できる限り皆様のお宅や職場にお伺いするとともに、後援会行事を通してご要望・ご提案をお聴きし、皆様から戴いた声を、皆様の想いをしっかりと受け止めて、政策に織り込んで、市政に届けてまいります。皆様とともに、「安心・元気なまち・三田」を創るために、精一杯頑張っております。

「びとう和広」の民間企業の視点に立った政策と、次世代に向けた将来像に共感頂き、更なる後援会会員拡大に向けて取り組んでいます。皆様からのご紹介を宜しくお願い致します。これからも、力強いご支援、なにとぞよろしくお願いいたします。

### 【びとう和広 後援会 連絡先】

<連絡先> 〒669-1513 三田市三輪2丁目3番33号  
三菱電機労働組合三田支部気付  
Tel:079-563-1860 Fax:079-563-5093

<自宅> 〒669-1537 三田市西山2丁目11番13号  
Tel: 079-562-8653 Fax:079-562-0730  
<電子メール> [bit@venus.dti.ne.jp](mailto:bit@venus.dti.ne.jp)  
<ホームページ> <http://www.Bito-Kazuhiro.com>

# 安心・安全

- 信頼される市民病院と地域医療の確立と充実  
市民病院は現在 19 診療科、300 病床。将来の安心医療のため、三田市民病院と神戸市済生会病院を経営統合し、両市境界周辺に大きな統合病院の建設と、現市民病院を将来医療拠点として再活用を推進します。
- 高齢者・障がい者を地域で支える福祉の促進  
認知症ケアの体制を整え、早期発見や家族と地域で支える仕組みで、介護離職ゼロを目指します。
- 犯罪撲滅に向けた防犯体制の確立  
見守り・巡回など一層の地域活動を推進するとともに、防犯カメラや防犯灯、公用車のドライブレコーダー搭載とネット展開などで犯罪抑止を進めます。
- グループ活動・生涯学習／スポーツの環境整備  
地域活動や文化・スポーツの活動を広く支える仕組みと体制を推進します。
- 感染症を含む防災・減災に向けたまちづくり



最近のゲリラ豪雨で地域冠水した事例

コロナ禍等対応や、各所で発生する風水害に負けない仕組みづくりを推進します。

# 子育て・教育

- 放課後・休日の「子どもの居場所づくり」の推進  
放課後児童クラブが6年生まで拡張出来ましたが、放課後・休日の居場所が必要です。地域活動としての「子どもの居場所づくり」を推進します。
- 待機児童ゼロに向けた保育体制の拡充  
市立幼稚園の認定こども園や認可保育所の拡充で、保育環境が整備出来つつあります。要望の偏在に対応できる保育環境を推進します。
- 子育て世代が安心できる切れ目のない支援  
恋愛・結婚・妊娠・出産・育児・教育・就職と連携支援を進めます。保育体制や病児保育の強化などを推進し、安心して働きながら子育てができる体制作りを進めます。
- 通学支援と適正規模で教育の充実  
GIGA スクールで子どもは皆タブレットパソコンを手に入れます。教育のあり方と見直しを図ります。
- 豊かな自然を将来に引き継ぐ環境保全の推進  
豊かな自然を継承するには、生活環境と環境保全をあわせて推進し、三田の魅力にします。

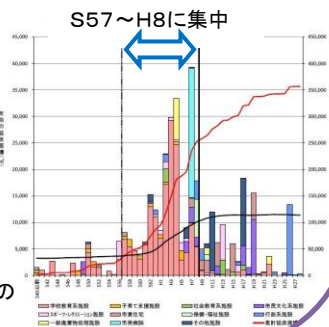


ゆりのき台付近の平谷川緑地を整備し身近な都市公園に！

# びとう和広 5期目の 課題と政策

## 企画・財政

- 市民の生活重視で行財政改革  
市民の皆様にも共感頂きながら、更なる行財政改革を推進します。各事業、各種団体のあり方を根本から見直します。地域の予算と事業計画構築を支援します。
- 事業ごとに目的・コスト・効果と実績の見える化  
予算や決算審議は、私が訴えた事業別の目的と成果で検証・審査。民間の感性・手法を活かし、効率的で効果的な事業を推進します。各事業の目的の明確化、コストや効果の定量化と目標と実績の見える化を推進します。
- ICTの推進による情報環境の充実  
三田市所管施設間の通信を強化し、リモート会議やテレワークの実施と、ICT強化で、市業務効率化を図ります。
- 情報公開と市民参加の市政運営を推進  
まちづくり基本条例に則し、市政に市民参加・参画を進め、若者や経験豊富な高齢者と一緒に、市政運営を図ります。
- 公共施設の将来への検証  
公共施設の運営状況・コスト・改修費を施設ごとに精査し、将来を見据えた運用を推進します。



右は市施設の建設年ごと面積のグラフ。一時期に集中しています

## 経済・地域

- テクノパークを中心に雇用・流通強化  
若者が三田に住み働くことで三田が元気になると考え、企業誘致を進めてきました。ほぼ完売を受けテレワーク等対応の雇用施策を提案しています。
- 三田ブランドの確立と担い手育成  
単にシティセールスするだけでなく、市民全体で三田の再認識を行ない、担い手育成を支援し、継続可能な三田ブランドの確立を図ります。
- 自治会・地域団体の連携で地域力向上を推進  
自治会をはじめ、地域団体の皆様との連携により、地域でできる事業や管理業務を地域に委託し、地域課題を地域で解決・運営できる体質を推進します。
- JR・神鉄各駅周辺のさらなる活性化推進  
三田駅南口Bブロック完成を受け、Cブロックの開発や駅周辺の賑わいと安全整備を進めます。JR 新三田以北や神鉄の各駅周辺開発も進めます。



いよいよCブロックの開発に向け、事業化が進められています。手前に4階商業棟、奥に20階建住居棟、左に5階建住居棟間に立体駐車場。三田駅前のデッキから商業棟、住宅棟へと駅前の賑わいが広がります。

三田駅上空から